



信濃の旅 (四)

島田 忠夫

諏訪小見
山浦地方に、考古學の遺物の多量に在ることは前記の撮影をした。田實氏に記せる如くである。更に山は濃口雄幸型の顔である。前記の方で異とせるものは濃口雄幸型の顔である。祖神の種々な形態である。(馬占山ではない)この二つ乃ち、村の社々に立つこの顔を並べたのは、一つの道祖神は、一般に猿田彦神である。神と天守受命といふことになつてゐるが、この男女神が肩を相抱いてゐるのがラギの田中周三氏にいらぬらんばうになつて行つてゐる。中には類をすり合せる厄介をかけた。上諏訪高た。しほにはわざと力を合せてゐるのがある。石造といふ大きな學校である。つるやうになつた。の男根などが、古くは職工職員は現在、熱心に「アア」いてえよう！、いてえよう！、田實文則氏は約「アア」研究をつつ、阿部次郎！、二十點から之れを所蔵せらる。郎氏を講師として折々迎へてゐる。男根崇拜の古代現象である。

折口信夫氏の歌に
諏訪人は建御名方の後といへど物言ひぶりのおだしくもあらずといふがある。諏訪神系統のこの地方民はやはり神の精神があるやうである。殊に山浦地方の土民が最も神ながらの精神を存してゐると言へる。

山浦地方に美人の多いこと
と一つの事實である。旅人には斯やうなことが極つて感ぜられるのである。また山浦人の素朴さは、往々旅人の目には暗重な感も起さしむる。現に米澤村の歌人校長北原時衛氏は、今春四月新任された許りであるが、やうしばらしくは山浦地方の児童のほつそつとした素朴さに親しめなかつた。ま、やうやく親しむに及んで實に深みある神性を思はせると語つた。

湖流に從ふて航海を遂げよ
千里の馬でも廣野が無ければ走れない理由はない。若し廣野でなければ走れぬとすれば細道を歩く能力がないのである。融通の利か馬と断定されても仕方が無い。眞の能力の有る者なら自分で機會を作る……

社會の今日

大空へ両手を上げて飛

徒の立てば遙かな八月の海 中島 憲見
忘れてた女がひよいと顔出して心くすぐる夕顔の庭 炭 光 任

千葉省三
初めのうちは、竹の穂をよまはすにも氣をつけては度重なるほどだんだんおぼろげになつて行つてしまつた。表紙も裏も取つてしまつた。オホオホの古手帳だつた。

安の話 (五)
安は泣きながら草の上をみまはつた。それでも次の日になつて遊びにさそふ。小房から出て来て豚の役目を取つてゐた。安は泣きながら草の上をみまはつた。それでも次の日になつて遊びにさそふ。小房から出て来て豚の役目を取つてゐた。

磐城歌壇
大谷 萬 江
○飛騨の夕陽舟を滑りかれば三つ四つ顔にあたり
○我病みて田舎をわが家へ都の人等手傳ひに來し
○わが里は田舎をわが家へ都の人等手傳ひに來し
○わが里は田舎をわが家へ都の人等手傳ひに來し

拈華微笑

作を謳歌。氣のうらみから、其處が欲で

「出して見るものに！生、端鏡が二分と一朱……」
「御座りましたか」
「若者は安塔した様子」
「ま、それで私も拾つた」
「アハ、その御座は此方」
「アハ、その御座は此方」
「アハ、その御座は此方」

お蘭のお蝶
渡邊 謙 作
布 施 長 春 書
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

お蘭のお蝶
渡邊 謙 作
布 施 長 春 書
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

お蘭のお蝶
渡邊 謙 作
布 施 長 春 書
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

お蘭のお蝶

渡邊 謙 作

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」



「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

お蘭のお蝶

渡邊 謙 作

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

お蘭のお蝶

渡邊 謙 作

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

お蘭のお蝶

渡邊 謙 作

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

お蘭のお蝶

渡邊 謙 作

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

お蘭のお蝶

渡邊 謙 作

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

お蘭のお蝶

渡邊 謙 作

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

お蘭のお蝶

渡邊 謙 作

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」
「お蝶、何だね」

